

高齢徘徊者の死亡事故多発!



6月10日の早朝、さいたま市見沼区小深作地内で高齢男性が踏切内に侵入し、列車にはねられ死亡しました。

県内では、今年に入り、**認知症**が疑われる**高齢徘徊者の横断歩道外の横断**や**踏切内侵入**による交通死亡事故が**3件**発生しています。

重大事故防止のために!



踏切で緊急事態発生時は非常ボタンを押下!
 迷い人、徘徊者、路上寝込み発見の際は110番!
 傷病人発見の際は119番! 一時保護にご協力を!
 ご家族が行方不明になってしまったら110番!
 無理な横断者がいたら、徐行又は停止!
 体調不良時は運転や外出を控えましょう
 反射材を着用し、自分の命を守りましょう

認知症が疑われる

高齢者を温かい目で見守ろう!

家族支援	「あれ? 何だっけ?」は大事なサインです。ちょっとした物忘れを見逃さないで。気になる事は医師への説明のために記録しておきましょう。若年性認知症もあります。
医療	「何だかおかしいな?」と思ったら早めにかかりつけ医に相談しましょう。認知症サポート医による支援があります。専門医による精密検査を受診しましょう。
介護	訪問介護、ホームヘルパー、老人ホーム、グループホーム等のサービスを検討しましょう。他にも配食サービス、清掃サービス等もあります。
福祉	ふれあいサロン、うんどうサロン、歌声サロン等の認知症予防のための高齢者クラブを活用して、認知症予防と健康増進を図りましょう。
相談	地域包括支援センター、在宅介護支援センター、地域ケアコーディネーター 成年後見人制度による身上監護(入院手続き等) 生活保護、失業給付、障害年金
地域支援(見守り)	「道に迷っているかな? おかしいな?」と感じたら優しく声をかけましょう。 「真夜中に電気が点いている。昼なのに雨戸が閉まっている。新聞がたまっている。」等の場合は声をかけるか、安否確認の110番、119番をして下さい。孤独死を防ぎましょう。 路上寝込み、徘徊等の交通事故防止に関する協定の締結(県内6団体) 認知症サポーター、民生委員、地域での見守り 地域警察官による巡回連絡、パトロールの実施
予防	玄関や出口にチャイムや鈴等の音がするものを付けておきましょう。 顔写真を撮っておくと本人確認の時に役立ちます。 着衣、靴、つえ、持ち物に氏名、電話番号、緊急連絡先を書いておきましょう。 着衣にネームシールを貼ったり、名前入りのタグを縫い付けましょう。 ひとり歩き高齢者安心シール(狭山市)、おでかけ見守りシール(深谷市、飯能市) 電気ポットや人感センサーで安否を確認できる見守りサービスを検討しましょう。 SOSボタン付GPS端末や携帯電話を持たせることを検討しましょう。
運転免許	運転時認知障害早期発見チェックリスト30の活用 自主返納及び生活支援相談のための情報提供制度 認知症等の病気で運転に不安がある方の運転適正相談

